

[吉敷ふれあい様語 2017] やさしい手 かさねて広げる 吉敷の和



2017
10
No. 739



大切に育てたホタルをふるさとの吉敷川へ
ホタル放流の集い



Aブロック準優勝 来年こそは栄冠を掴もう
市民体育大会(ソフトボール)



Aブロック第1位 王者の賞
市民体育大会(むかで競争女子)

CONTENTS

[トピックス❶]

みんなで見守り合い、支え合い
安心して暮らせる吉敷に 2

インフォメーション 4

[よしき四方山ばなし❸]

雪舟の絵馬 5

レポート 6

[トピックス❷]

地域課題の解決に向け
「住民座談会」を開催します 7

[吉敷の福祉・健康]

あかだ 7

[よしきで輝く]

書道春秋 8

かけはし 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,807(前月比-79) 【世帯数】6,114(前月比-71)



平成29年9月1日現在

みんなで見守り合い、支え合い 安心して暮らせる吉敷に

現在、高齢化や核家族化が進行し、
一人で暮らす高齢の方や、高齢の夫婦
だけで暮らす世帯が増えています。

他地域から移り住んで来られた方が
多い吉敷地域では、人ととの関係の
希薄化が課題となつており、昔は盛んに
行われていた隣近所でのお付き合いや助
け合いがより一層求められています。

私たちの住む吉敷にも

高齢社会の波はやってくる

若い人や子どもも多い吉敷地域ですが、
高齢化社会はよそ事ではありません。

民生委員が地域を把握するためなど
に行つてある「高齢者保健福祉実態調
査」では、65歳以上一人暮らしの方は
ここ3年で42人増えて337人に、75
歳以上二人暮らしの世帯は12世帯増え
て161世帯となっています。

隣は何をする人ぞではなく 人と人とのつながりが大切

高齢の方をはじめ、お互いが支え
合つて地域で暮らしていくためには、
隣近所での日常における声かけによる
つながりがより大切になつてきます。

吉敷地域における見守り活動や訪
問活動、交流の取り組みを紹介しま
すので、みんなで何ができるか考え
てみませんか。



研修会で確認し合うグループの皆さん

ご近所の温かい支え合い 「見守り」や「訪問」の取り組み

地区社会福祉協議会では、高齢の方
が安心して暮らし続けるために、町内
会・自治会や民生委員、福祉員、ご近
所の方などでグループを作り、見守り
が必要な方の同意を得て、変わったこ
とがないかと見守ったり、訪問したり
しています。

グループの皆さんは、声かけや直接
お宅に伺つて、世間話をしながら
見守っています。話し相手の少ない一
人暮らしの方からは、「訪問してくれ
て寂しさが和らぐ」と言つていただ
くこともあります。

このような取り組みにより、異変に
早く気がついたり、必要な支援につな
げことができたりしています。

災害などいざという時に
ご近所さんの底力發揮！

急な病気やケガ、台風など予測がで
きる自然災害に対して、ご近所さん
の力で助けられることがあります。

例えば、自主的に避難するにも、移
動に時間がかかる高齢の方には、近所
の方のひと声で早期に行動を始めるこ
とができます。

そのため、若い人からも、高齢の
方からも、お互いに積極的に声をかけ
合いましょう。

私たちにもできる さりげない「見守り」

グループの方でなくとも、同じ地域
で暮らす私たちは、高齢の方を何気な
く見守ることができます。例えば…

- ・夜、灯りがついているか
- ・カーテンが開閉されているか
- ・郵便物や新聞がたまつていなか

- ・回観板は回っているか
- ・など、日頃の買い物や散歩、通勤途中
に少し気にかけることで、実はそつと
見守っているのです。

「元気かね？」 手作りのお弁当は手渡しで

ふれあい型給食会では、毎月1回、
見守りが必要な高齢者のお宅へ、手作
りのお弁当をお届けしています。現
在、約70人が利用されています。

お弁当は、民生委員や福祉員をはじ
め、交通防犯協など地域のボランティ
アの皆さん、見守りを兼ねて手渡し
しています。お弁当をはさんで、世間
話に花が咲くこともあります。

また、お弁当には、良城小児童が心
を込めて書いた手紙が毎月添えられ、
毎年2月には5年生が制作した版画力
レンダーと一緒に届けられます。



手作りにこだわるお弁当



児童が書いた手紙

地域行事やサロンで 仲間づくり、生きがいづくり



いきいき百歳体操の様子

いきいき百歳体操は、椅子に座つて誰でも無理なくできる、体力をつけるための体操です。すでに活動を取り入れている町内会やサロンもあります。
「立つたり座つたりが楽になつた!」など、効果を実感する声もよく聞かれます。百歳体操に参加して、健康づくりと仲間づくりをしませんか。

元気があれば何でもできる! いきいき百歳体操やってみよう



サロンでダーツを楽しむ様子

地域には、敬老会やお祭りなどの行事、グラウンドゴルフやペタンクなどの取り組み、また、老人クラブやサロンなど、高齢者が集う場は様々です。中でも「ふれあい・いきいきサロン」は、どなたでも参加できる、憩いの場、仲間づくりの場として身近な存在です。

あなたが気付いてあげて! 身近な高齢者のSOSのサイン

何か変化に気づいたら、身近な相談者である民生委員や福祉員、地区社会福祉協議会まで連絡してください。

異変 のサイン

- 訪問しても顔を出してくれない
- 郵便物や新聞がたまっている
- 顔色が悪い・やせた
- 同じ洗濯物を何日も干したものまでいる

認知症 のサイン

- 服装が不自然なまま外出している
- 庭の手入れがされていない
- ATMや自販機でまごまごしている
- 「ものを盗まれた」と何度も言う
- 道で立ち止まつたまま困っている

虐待 のサイン

- 家中から怒鳴り声がよく聞こえる
- 顔や腕などに不自然なあざがある
- 落ち着きがない
- 家族がいるのにいつもコンビニなどで一人分のお弁当を買っている

消費者トラブル のサイン

- 見かけない車がよくとまっている
- 見慣れない人がよく訪問している
- 電話におびえたり、電話を切れなくて困っている
- 気がかりなことがあるようだ

出典:市社協見守りグループ員研修会資料

回覧板の手渡しで ご近所どうしが顔見知り



こんにちは!回覧板です

あなたはご近所さんの顔をご存じですか。そしてご近所さんは、あなたの顔をご存じでしょうか。吉敷地域では、「回覧板の手渡し」と声かけ運動を実施しています。ポストにそっと入れていた回覧板を、ちょっとだけ踏み出して、あいさつを交わしながら、手渡ししてみませんか。ご近所どうしが顔見知りだと、何かと心強いですよ!

【問い合わせ】地区社会福祉協議会
☎ 083-922-3344

年齢を重ねても 安心して暮らせる地域に

吉敷地域では、いろいろな機会を通じて高齢者の見守り活動に取り組んでいます。私たち一人ひとりができることはないでしょうか。多くの犠牲者を出した阪神・淡路大震災では、がれきの下から救出された人のうち約8割が家族や近所の方によつて救出されるなど、日頃からの近隣や地域とのつながりが重要であることが再確認されたと言われています。近所で出会つた時や回覧板を手渡す時など、あいさつでつながりをつくり、お互いに見守り合い、支え合いながら、いくつになつても安心して暮らせる地域にしていきましょう。



みんなでつながり、安心して暮らせる吉敷に!

1・シード・オーメン

ハロウイン de YY

今年もハロウインの時期が近づいてきました。みんなで楽しくハロウインの飾りを作りましょう！

とき 10月14日(土)10時～11時30分

場所 地域交流センター 講座室

対象 幼稚園児～小学生 30名(先着順)
※小学生未満は保護者同伴

参加費 無料

申込・問い合わせ 地域交流センター
☎ 083-922-3915



吉敷のお宝(歴史文化)の再発見

市では、今年度から3か年で「歴史文化基本構想」を策定する予定です。

この構想を策定するにあたっては、指定された文化財だけでなく、それ以外の地域に残されている有形・無形の文化財を把握することが求められます。

このため、住民の皆様から様々な文化財を教えていただき、文化財を通じた地域の特色をお聞きする会を開催します。

とき 10月20日(金)19時～21時
場所 地域交流センター 講座室
申込 不要

主催・問い合わせ 市文化財保護課
☎ 083-920-4111



貸し出しできます!

「吉敷さんぽ」を片手に ふるさとの歴史を学ぼう

今年の3月に刊行した地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」を活用し、住民の皆さんに郷土の歴史に対する理解と関心を深めていただきたいと思います。そのため、1回目にお話を聞き、それをもとに、2回目には「吉敷さんぽ」による散策を組み合わせた学習会を、4回シリーズで計画しています。

1回目は、吉敷が片山鳳翫などの偉大な教育者に恵まれ、教育がとても盛んな地域であったことや、吉敷川の水が少なく、しばしば干ばつに悩まされてきたことを学んでいきます。

吉敷のシンボル「鳳翫山」の名前のルーツから始まる楽しい学習会です。

とき 10月21日(土)10時～11時30分

場所 地域交流センター 講座室

講師 宮田尚氏(佐畑)

対象 小学三年生以上の方 35名(先着順)
参加費 無料

募集締切 10月16日(月)
申込・問い合わせ 文化振興協議会
☎ 083-922-3344

子育て講座(ちびっこ運動会)

運動会の季節がやってきました。親子で楽しく体を動かしませんか！

とき 10月31日(火)10時～11時30分

場所 地域交流センター 講堂

対象 未就園児と保護者 25組(先着順)
準備 動きやすい服装、飲み物など
参加費 無料

主催 母子保健推進員、つどいの広場
準備 動きやすい服装、飲み物など
参加費 無料

吉敷地区地域づくり協議会 事務局員募集

募集人数 1名

応募資格 様々な地域づくり活動や地域の方々との交流に積極的に取り組む意欲があり、パソコンの基本操作(ワード・エクセル)ができる方。

勤務地 地域づくり協議会事務局
(山口市吉敷佐畑二丁目4番1号 吉敷地域交流センター内)

雇用期間 平成29年11月1日～平成30年3月31日(更新あり)
勤務日 月15日以内(事務局員4人でローテーション)。イベント、会議等により土、日、祝日、勤務時間外の勤務もあり。

勤務時間 8時30分～17時15分
業務内容 地域づくり活動等に関する業務

社会福祉協議会の事務局業務
・地域づくり協議会、自治会、地区

地域内活動団体の運営支援
・地域の行事やイベントの運営(企画も含む)

広報紙の作成など広報に関する業務
・広報紙の作成など広報に関する業

選考方法 書類審査及び面接による
応募方法 10月11日(水)までに市販の履歴書を持参。

申込・問い合わせ 地域づくり協議会
☎ 083-922-3344

親睦ゴルフ大会

ゴルフをしながら、地域住民どうしで楽しく汗をかき交流しましよう！

【とき】 11月26日(日) 9時集合
【場所】 湯田カントリー倶楽部
※表彰式、懇親会は地域交流センターで行います。

【方式】 ダブルベリア方式

【参加費】 4,000円(賞品代・懇親会
【募集】 40名程度
【場所】 フィールド

※プレー代(8,330円)は別途ゴル
【募集締切】 10月31日(火)
【主催・申込】 地域づくり協議会
☎ 0831-922-3344

10月の予定

7日(土)	吉敷幼稚園運動会
13日(金)	うそ電話詐欺防止キャンペーン
14日(土)	ハロウィン de YY
19日(木)	ふれあい給食
20日(金)	吉敷のお宝(歴史文化)の再発見
21日(土)	「吉敷さんぽ」を片手にふるさとの歴史を学ぼう
31日(火)	子育て講座(ちびっこ運動会)

11月の予定

5日(日)	親睦ソフトボール大会
8日(水)	母子相談
9日(木)	ナイトスクール(交通安全教室)
12日(日)	吉敷ふるさとまつり
16日(木)	ふれあい給食
18日(土)	良城ふれあいフェスタ
19日(日)	市地区対抗男子9人制バレー大会
26日(日)	親睦ゴルフ大会 少年綱引き大会

地域交流センター新刊図書案内

いのちはな

(さく・のぶみ)

うめじいのたんじょうび

(かがくいひろし)

おやすみ、エレン

魔法のぐつすり絵本

(カーネル＝ヨハン・エリーゼ
 クレヨンのくろくん

(なかやみわ)

今月のぶっくん(移動図書館)

【時間】 10月13日(金)、27日(金)
【場所】 地域交流センター駐車場
 15時20分～16時

よしき 四方山 ばなし

Vol.
3

その晩、見張りをしていると、見たことがない馬が現れて稻を食い荒らそうとするので、たまりかねて大声を出すと、びっくりして走り去つていきました。

今度見つけたら、後をつけ、どこの馬か突き止めることにしましたが、その後も、その次の晩も見失つてしましました。

あるひとりの若者が、どうしてもこの馬の正体を突き止めようと見張っていると、馬が現れました。

馬の後をつけると、馬は龍藏寺

をつけてもらいました。それから馬は、荒らされなくなつたということです。

【雪舟の絵馬】には、それでも馬

の石段を登り観音堂に入つていきました。走り寄つて中をのぞくと、正面の「雪舟の絵馬」の額の中に入つていつたようでした。

若者の話を聞き、翌日、もの好きな連中が若者と出かけてみると馬は、若者が言うとおり観音堂の中に入つていきました。
 さあ大変です。和尚さんも困つていると、一人の老人が「この絵馬をお描きになつた雪舟様にお願いして、手綱をつけて縛つてもらつたらどうか」と言いました。
 それは名案と雪舟に頼んで手綱



をつけてもらいました。それから馬は、荒らされなくなつたということです。

【雪舟の絵馬】には、それでも馬が手綱のまま現われる所以で、雪舟が殺してしまつしかないと絵馬に小刀で一本の切り筋を引き、治めることができたというもう一つの言い伝えもあります。

レポート

がんばれっ！九州北部地方！

義援金を送ります！

8月17日(木)、吉敷自治会と地区社会福祉協議会では、九州北部豪雨の被災者への義援金として、20万円を日本赤十字社山口地区にお渡しました。この義援金は、日本赤十字社山口県支部を通じて被災地に届けられます。



吉敷の天然記念物ゲンジボタル
来年の乱舞を期待して☆

9月6日(水)、地域交流センターで地域づくり協議会と良城小学校の共催による「ホタル放流の集い」を開催しました。

した。

はじめに、良城小ホタル委員の児童たちによる飼育経過の報告があり、続いて、良城小児童から527点も寄せられた「ホタルの俳句」の優秀作品が披露されました。

終了後、児童たちは、育てた約1万7千匹のホタルの幼虫を、ふるさとの吉敷川に帰しました。来年の初夏には、立派に育ったホタルの乱舞が見られるでしょう。今から楽しみですね！



ホタル俳句優秀作品
（最優秀賞）
古里にホタルの光いつまでも
6年 浦山 壱輝

（優秀賞）
よしき川 ほたるのひかりがみちしるべ
よしきではほたるとびかう川の星
3年 古野 蒼樹

みあげれば星とつながり 飛ぶほたる
4年 杉山 巧希

散歩道 ホタルのひかり道案内
5年 倉光 和子

星空に続していくよ ホタル道
6年 伊藤 里紗

人々をやさしく包むほたるの灯
6年 渡部 冬和子

今年の中秋の名月は10月4日
まん丸お団子おいしいね☆

9月9日(土)、「お月見団子づくり教室」を開催しました。

ほとんどの子どもたちが初挑戦でしたが、食生活改善推進員さんを講師に、まん丸のお団子を小さな手で完成させることができ、目と舌で日本の伝統文化を堪能することができました。



激戦の吉敷代表選手団！

9月10日(日)、晴天のもと維新公園をメイン会場として、「市民体育大会」が盛大に開催されました。約100名の吉敷代表選手団は、大いに躍動しました。

陸上・レクスボ競技は、この日に向けて練習してきた成果を十分に発揮し、100mむかで競争では女子は1位、男子は2位、地域別400mリレーでも見事2位でゴールテープをきり、レベルの高いAブロックで奮闘しました。

グラウンドゴルフ、卓球、バレー、ボール、ソフトボールの選手団も大活躍。最後まであきらめずに強豪相手に戦い抜きました。

今年は、鴻南中サッカー部の生徒たちも出場し、応援団の声援は大会を大いに盛り上げ、多くの人に感動をよんでいましたよ！



地域課題の解決に向け 「住民座談会」を開催します

吉敷地域では、地域づくり協議会により平成24年度に「第1次地域づくり計画」を、地区社会福祉協議会により平成25年度に「第2次地域福祉活動計画」を策定し、町内会・自治会をはじめ、住民の皆さんや地域団体とも連携しながら、両計画を一貫的に推進してきたところですが、今年度末をもって計画期間が終了となります。

両計画に基づき進めてきた 吉敷地域のまちづくり

この6年間、両計画に基づき、関係者が連携しながら、地域づくりや地域福祉の様々な取り組みを進めてきました。広報委員会や環境づくり推進協議会等の立ち上げ、地区バタンク大会など、新たな取り組みも始まっています。

吉敷の生活課題を把握して 両計画の見直しへ

現在、地域づくり関係団体からヒヤリングを行うなど、両計画の見直しを進めています。策定する新たな両計画を、実効性のあるものにするため、住民の皆さんのが日頃から感じておられる困りごとやご意見、ご要望をお聞きし、これらを解決するための取り組みを両計画に位置づけていくことが重要です。

多くの住民の皆さんのお声を お聞かせください

次の日程で「住民座談会」を開催しますので、住民の皆さんの積極的な参加をお願いします。なお、開催日ごとに町内会・自治会を割り当てていますが、どの開催日に参加されても構いません。

問い合わせ 地域づくり協議会・地区
社会福祉協議会
電話番号 083-922-3344

座談会の進め方	開催日	町内会・自治会
1 概要説明 (全体会議)	10/10 (火)	吉敷畠、中尾西、 中尾東上、中尾東下、 緑ヶ丘
2 座談会 (次の①から⑤までの分野ごとにグループに分かれて意見交換) ①地域振興 ②安心・安全 ③環境づくり ④地域個性創出 ⑤地域福祉	10/12 (木)	赤田、佐畠、中村、 木崎、木崎団地
※各グループの意見交換が終了したら解散となります	10/13 (金)	上東、上東住宅団地、 下東、京面団地、 大橋町、稻葉町

場所：地域交流センター
時間：18:30～(終了予定19:45)

吉敷の福祉と健康

WELFARE AND HEALTH

赤田町内会で活動するふれあい・いきいきサロン「あかだ」をご紹介します。

「あかだ」

平成16年5月に設立されたふれあい・いきいきサロン「あかだ」。活動日は第4水曜日で、時期によっては変更もあります。

赤田の歴史を知った日？!

取材に伺った日は、春休みということで、赤田子ども会からの参加者25名を含めて、40名でサロン活動を行いました。

寺領地区にお住いの井上さんのお宅には、吉敷の伝説の中にある「西畠さま」で出てくるお姫様のものと言われる化粧箱が470年間保管してあります。その化粧箱が登場した時



には「うわあ～!!」と歓声が上がりました。その昔、何が起こっていたのか、興味深々な様子でした。

みんなで楽しもう!!

勝つと飴がもらえるゲームでも盛り上がりしました。子どもも大人も出来れば、じゃんけん、またじゃんけん。手に持った5つの飴がいくつ増えるかな～。次は、ボウリング。ペットボトルのピンをいくつ倒せるかな。

参加した男性は「普段、子どもと接することがないから、こういう賑やかのはいいね。」と言っていました。



【代表者】安江 美行(赤田)

【問い合わせ】☎924-6461(安江宅)

【開催日】第4水曜日

【会場】赤田公民館

よしきで

輝く

書道春秋



【活動日】毎週金曜日 15時～19時30分
【活動場所】地域交流センター 和室
【会員数】28名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よしきで輝く」。15時過ぎると、子どもたちが手に書道セットを持って、学校から地域交流センターにやってくる。今回は「書道春秋」を紹介する。指導者である秋山美津恵さんによれば、書道春秋は約15年前から始まつたとのことだ。当時、赤田にある秋山先生の自宅で書道教室を行っていたが、学校から教室まで歩いてくる子どもたちの安全を考え、学校近くの地域交流センターで行い始めたのがきっかけだ。

子どもたちに書道を習い始めたきっかけや醍醐味を聞いてみた。「お兄ちゃんが習っていたから。字がもっと上手になりたいです。」とは書道3段の下川原那美さん。神崎愛歩さんは「お姉ちゃんがやっていたからです。書くのがおもしろくて、もっと練習してうまくなりたいです。」と恥ずかしがりながらも教えてくれた。浦ことみさんは「うくんやつぱりうまく払えたときが気持ちいい！」と強いこだわりを持つて

いる多才な方。元気でシャキシャキした感じで、地域の名物先生といつても過言ではないだろう。



「書く」ことは楽しいよ!

いるようだ。

教室での成果は、ふるさとまつりや良城ふれあいフェスタでも披露される。また、教室では、夏と秋に

「お楽しみ会」を開催している。ビンゴゲームをしたり、お菓子をみんなで食べたりと、子どもたちに評判の行事になっている。

秋山先生は「この教室で集中力と努力することの大切さを養ってほしい」とのこと。たしかに、書いている時の子どもたちの表情は真剣そのものだ。何枚も書いて、先生に赤い墨で修正してもらい、またチャレンジしていく。その繰り返しの中で集中力と努力する姿勢が養われていくのだろう。

秋山先生は「この教室で集中力と努力することの大切さを養ってほしい」とのこと。たしかに、書いている時の子どもたちの表情は真剣そのものだ。何枚も書いて、先生に赤い墨で修正してもらい、またチャレンジしていく。その繰り返しの中で集中力と努力する姿勢が養われていくのだろう。

「吉敷を散策しましょう」



退職してから3年になり、何か新しいことをやってみたいと思っていたところ、やまぐちカルチャーセンターで「俳句入門講座」が行われて

いることを知り、申し込みました。入門講座とはいえ、毎月五つの句を持ち寄って皆で選句し、講師が講評を行う句会形式の講座で、十名の受講生の内、新人は二名だけでした。それからは、朝起きたら、まず俳句の作り方の本を読み、昼からは俳句の素材を求めて吉敷の各地を散策しました。

すると、これまで気付かなかつた光景に出会うことができました。

初めて作った俳句です。
「のんびりと流れる川や桜散る」
散っていく桜の花びらが、吉敷川に浮かび、ゆっくりと流れしていく光景はとても感動的でした。

今年の3月に、地域散策ガイドブック「吉敷さんば」を刊行しました。

地域づくり協議会のウェブサイトにも掲載しています。吉敷を散策してみましょう。至る所で素晴らしい自然や文化に触れることができます。

広報委員 横山 健二

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畠一丁目4番1号)
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会
☎083-922-0668 吉敷地区交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3915 吉敷地区交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索